

末広 企業の森の見方 ～里山レンジャーズ活動を通して～

埋立地を約40年前に緑化したJFEエンジニアリング構内緑地の一角。昨年10月から12月、2月と3回にわたり行なわれた工場緑地での里山レンジャーズ活動は、何を目標に取り組みましたのでしょうか。

森の見方/元気な森とは

樹木は固有の植生を形成する社会性を有しています。しかし、京浜地区の植栽木はすべて移植されたものです。埋立地に新たな苗木などを組み合わせて植栽し、木が元気に育っただけでは、生きものでにぎやかな自然の森が生まれるわけ



▲1回目の様子(2012.10)

はありません。では、工場緑地は反自然的な緑なのでしょうか。いえいえ、植物同士の淘汰や遷移の経過を踏まえ、森林性動物、土壌生物などの生態系(食物連鎖)が確保できれば、りっぱな森になります。しかし、埋立地が本来の森になるためには長い時間(数百年?)がかかりますので、少しでも早く、元気な森を実現するため、日本で初めて(たぶん?)、企業と市民ボランティアが一緒に取り組みました。工場緑地の歴史はまだ100年足らずのため、元気な森の目安として、長年、人の手によって維持されてきた里山での活動と比較検討することにもなりました。

淘汰される木/伐ってはいけない木

工場緑化では、冬でも緑の常緑樹を中心に植えられています。しかし、常緑樹が生育すると林冠が覆われてしまうため、林床の地被植物などが日照不足で育たなくなってしまう。巨大な生垣をつくるつもりならよいのですが、林内の多様な環境を形成するためには、上層をつくる高木、その下層の中低木、そして地被類、それぞれが多様になるよう、生育対象植物を選び、その支障になっている木の枝下ろし除伐等を行います。

植物が教えてくれること/林内環境

植物の状況から林内環境を判断することができます。例えば、林床に植物が見当たらない場合は日照不足。枝が枯れ上がっている場合は樹間が過密。根元近くから脇芽が多く出る場合は根が弱っていることがある。何度、植え替えても枯死するような場合、客土にゴミ等が混入されていたことも。また、鳥が運んできたトウネズミモチなどの実生木は成長が早いので、いつの間にかお日様を独り占めされることがあります。

時間を味方にする/目標とすべき植栽林とは

自然の力で林内環境をつくるには、時間を味方につけた戦略が必要です。植物たちの時間(成長、寿命)は、まちまちですから、自然に任せる方法は計算では出ないかもしれ

「JFE トンボみち」での活動が環境活動賞!

3月3日(日)、横浜情報文化センターの情文ホールで開催された「ヨコハマbディ2013・春」(主催:横浜市環境創造局)において「第20回 横浜環境活動賞」の表彰式が行なわれました。全部で22の団体・企業が表彰されましたが、末広地区緑のまちづくり協議会のメンバーからも、企業の部で「JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所」と、市民の部で「トンボみちファンクラブ」がそれぞれ環境活動実践賞を受賞しました。何れも「JFE トンボみち」での環境活動が評価されたものです。また、京浜臨海部を中心として活動している「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」も、10年間にわたるトンボ捕獲調査や、子供たちによる「トンボ捕り大作戦」などの活動により、市民の部の環境活動大賞と、生物多様性特別賞を受賞しました。



▲「JFEトンボみち」での活動(親子で生きもの観察会)
(画像提供:JFEエンジニアリング)

当日は、表彰式のほかに、青空大好きなロック歌手と自らを紹介した白井貴子さんの基調講演、昨年度受賞者による環境活動事例発表(企業の部は生麦新子安地区緑のまちづくり協議会のキリンビール(株)横浜工場)、受賞者同士が交流するポスターセッションも行なわれました。特に、仕事でクタクタになっていた27歳の頃、環境活動に目覚めるきっかけとなった自分の体験を歌った「野生のマーガレット」や、NPO法人鶴見川流域ネットワークとの交流から生まれた「マッカチカニカニ音頭」などを会場で披露してくれた白井さんの歌は、ヨコハマbディにふさわしく情文ホールに響きわたりました。

今回受賞された皆さま、オメデトウございます。そして、地球の明日に向かって、元気にまた歩いて行きましょうネ(^_^)



▲3団体と一緒に

横浜環境活動賞とは・・・

地域で様々な環境活動を積極的に行なっている市民(個人・団体)、企業、児童・生徒・学生を表彰する制度です。環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしい町づくりを進めることを目的としています。

ませんが、植生には遷移という時間の経過とともに移り変わる一定の方向性があります。森林形成まで付き合うには、人間の時間が短すぎますので、例えば、林内にギャップ(裸地)を作ると丸く見えていた空がふ



▲3回目の様子(2013.2)

さがり、地表に色々な植物が生えてきます。この中から育成種を選んで育ててみましょう。現在の植物相を固持するのではなく、また極相林を目指すのではなく、特定の生きものの保護だけにこだわらず、森が成長・変化する姿を楽しみながらお世話しましょう。(森林活動ガイド 園部弘明)



地域の緑化が進みました



□日産自動車 沿道緑化等 N3 2月完成

ゲストホールのある1地区と産業道路を挟んだ2地区を貨物線の森緑道とコラボを囲り緑化整備。①枯れた樹の植替え、②寿命末期樹木の植替え、③新たな緑地帯の設置の内、今年度は①と②の一部。既存植栽は色味が無かったので季節感を感じられるものへ植替え。



▲3月5日撮影
緑化整備場所(2地区 第4通用門前)
画像提供:日産自動車

□キリンビール 公園緑地再整備 N1 7月完成

工場見学のエントランスからレストランまでの散策路、及びピオトープを整備。散策路には最新のガーデニングノウハウを取り入れ、ピオトープではヨコハマメダカを域外保全。整備後、庭園見学と工場見学を合わせた「自然の恵みを感じるツアー」を新たに開催。



▲7月撮影
画像提供:キリンビール

□旭硝子 沿道緑化 S1 3月中旬完成予定

産業道路弁天町交差点から旭ガラス前踏切までの沿道 130m の万年塀を撤去。新たに透過性の高いネットフェンスにヘデラ・カナリエンシスのツル性植栽を施し、緑化壁を設置。工事期間中、将来整備イメージを描いた緑化計画の案内看板を掲示。



▲植栽から5年程度経過後のイメージ
画像提供:旭硝子

□JFE エンジニアリング 沿道緑化 S2 2月完成

弁天橋駅前の立体駐車場前の歩道沿いにプランター15基を設置。隣接する同社整備の駅前広場の縁石等と色調統一するとともに、植栽においても連続性を持たせパンジー、ピオラ等を中心に植付。整備後の花苗の美観維持を考慮し、給水装置を付加。



▲2月18日撮影
画像提供:JFE エンジニアリング

生麦新子安地区

- | | |
|----------|---------------------|
| 民有地緑化 | 公共緑化 |
| N1キリンビール | N4 新子安駅前バスロータリー(設計) |
| N2 昭和産業 | N5 宝町交差点(設計) |
| N3 日産自動車 | 新規緑道整備 |
| | N6 貨物線の森緑道(日産前) |
| | N7 貨物線の森緑道(日産・JX 前) |



□貨物線の森緑道(神奈川区側) N6 N7 2月完成

日産自動車ゲストホール前の区間は 2012 年 4 月に整備。2月には日産自動車とJX日鉄日石の間も整備完成。これに伴い、布袋橋から寿老橋までの区間(両橋梁の橋詰除く)の貨物線の森緑道が繋がる。



▲2012年4月撮影
日産自動車ゲストホール前

□ジャパンマリユニテッド 水際緑化 S3 3月完成予定

棧橋手前の老朽化している柳を再整備。根を掘り起こし、新しい柳を18本植え、以前の垣根の状態を復活。対岸の旭硝子の桜並木と併せ、水際の景観を成す。数少ない水際線緑化の事例で、海から見える緑地を形成。



▲2012年3月撮影
緑化整備予定場所

末広地区

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 民有地緑化 | 公共緑化 |
| S1 旭硝子 | S6 末広町プロムナード |
| S2 JFE エンジニアリング | S7 北部第二水再生センター(設計) |
| S3 ジャパンマリユニテッド | |
| S4 東京ガス環境エネルギー館 | |
| S5 東芝 | |

□昭和産業 沿道緑化 N2 2月完成

神奈川産業道路沿いの敷地の一部を緑化。19㎡の植栽ますを新設して植栽。潮風への耐性と実が付かない種類に加え、敷地内の既存植栽帯とのバランスの観点からカイジカイブキとヒラドツツジを選定。隣接する既存植栽と併せ、沿道海側の緑化を増進。



▲2月16日撮影

□末広町プロムナード 街路樹植栽帯再整備 S6 3月工事開始

河口踏切からふれーゆに続く末広町プロムナードの街路樹植栽帯の再整備。今年度は、東京ガス環境エネルギー館前、東京ガス前、東芝タービン工場前を先行整備。3月中旬から工事開始。



▲2012年10月撮影
整備予定箇所
(東京ガス環境エネルギー館前)

□東京ガス環境エネルギー館 エントランス広場周辺緑化 S4 2月完成

ワンダーパークのエントランス広場周辺を整備。新たにシンボルツリー等を植栽。塀代わりに竹しがらを設置。駐車場バイパス路に植栽プランターを設置。歩道フェンス沿いには、四季が感じられ鳥を招く実や花のなる樹木を植栽。



▲2月25日撮影
歩道フェンス沿い植栽とバイパス路植栽プランター
画像提供:東京ガス環境エネルギー館

□東芝 駅前緑地再整備と庭園跡地再整備 S5 3月完成予定

海芝浦本工場内の防火水槽付近と駅前道路沿い緑地を再整備。沿道緑地は海芝浦駅からの景観に配慮し老朽植栽を撤去し常緑樹を新植。防火水槽を水辺として利用しピオトープガーデンとして改修するとともに美観にも配慮。タービン工場内の庭園跡地を再整備しピオトープ化。



▲3月6日撮影
緑化整備場所(駅前緑地)
画像提供:東芝



教えて！電池のこと

～昭和電工が子安小で出前授業～

2月19日(火)、子安小学校で最先端の電池を学ぶ出前授業が昭和電工により行なわれました。

講義を受けたのは6年生4クラス全員の147名で、1クラス毎に授業が行われました。まず理科室で電池の勉強と、いろいろな電池で模型自動車を動かす実験。最後は教室を出て、実際の電気自動車に触れる体験



▲講師による授業の様子
(画像提供:昭和電工)

です。この授業は、子どもたちに電池について興味と理解を深めてもらおうと、リチウムイオンバッテリーの素材などを扱う同社横浜事業所のみなさんにより企画されました。

昭和電工のような素材メーカーの製品は、身近にあるにも



▲いろいろな電池で模型自動車の走行実験
(画像提供:昭和電工)

かかわらず意識されづらいものです。こうした機会を通して製品の中に組み込まれている電池等の部品に関心を抱いたり、それを製造しているのが地域の企業であることを知ることで

できれば、工業地帯はとても身近に感じられることでしょう。子どもたち限らず、多くの市民にも通じることです。このような機会がますます増えることを期待しています。

今回出前授業を行なった昭和電工は、子安小学校からは運河を越えた恵比須町にありますが、かつては同社の社宅が小学校の向かいにあり、多くの社員のみなさんの子どもたちが子安小学校に通っていました。現在その場所は、オルトヨコハマの敷地の一角になっています。

貨物線の森ファン倶楽部から

2月10日(土)、大黒町の貨物線の森緑道で枕木を使って花壇の枠をつくりました。土掘り作業や枕木運びなど、普段の花苗の手入れとは違う作業に大いにハリキリ、アツという間に、花壇だけでなくモニュメントもつくってしま



▲2月10日 大黒町

した。組み上げた枕木花壇は、後日、銕(かすがい)で固定しました。この枕木は以前この辺りを走っていた貨物の線路で使用していたもの。長い間野ざらしにされ、腐食がひどいものもありましたが、そこは「枕木」。



▲2月10日 大黒町

まだまだ、芝生の侵食から花壇の花を守ってくれそうです。どうぞ、貨物線の面影をさがしに、緑道へお出かけください。

2月16日(日)、新子安橋プランターから昭和電工前



▲2月16日 新子安橋



▲2月16日 昭和電工前

当日は強風。新子安橋ではプランターの花がら摘みを手早く済ませ、しっかり「地域で緑のまちづくりに取り組んでいます！」の看板を立て、昭和電工前へ移動。沿道植栽の上に積もった落葉を掃うことにより

「鶴魅力」パネル展に初出展

2月21日(木)～3月8日(金)、鶴見区役所1階区民ホールでの「鶴魅力」パネル展に貨物線の森ファン倶楽部が初出展。線路やフィルムをイメージさせるパネルは会場で大好評。みんなでの森を

育てましょう。



▲パネルと一緒にピブスも展示[2/21～3/8]

草花に燦々と太陽が届くようになりました。

今月は大黒町も新子安橋も花苗の植付です。ぜひ、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

① 緑道でマイ花壇づくり

3月10日(日) 9～12時 大黒町

② プランターで花壇づくり

3月16日(土) 9～12時 新子安橋

4月は14日(日)大黒町と20日(土)新子安橋です。

編集担当から

◆先月の日産デー、ゴミひとつ無くなった寿老橋脇の貨物線跡地でマヒワの群れに出会いました。詳しい方の話では、あまり出会えない野鳥だとか。自宅近くで見られない野草に出会うのも、この臨海部。やるジャン、京浜臨海部！これもケイヒンの不思議のひとつ？◆「やるジャン」と言えば環境活動賞。受賞のみなさん、おめでとうございませう。知ってしまえば他人ではない。協議会のみなさんの受賞を自分の事のように喜んでいませう。(Y)